

令和2年度 恩納村地域づくり支援助成事業団体の活動報告

恩納村では、主体的な地域課題の解決と地域が主役のむらづくりに向けた意識の高揚と参画を図り、協働によるむらづくりを推進することを目的とした「恩納村地域づくり支援助成事業」を実施し、恩納村において自治会やNPO、ボランティア団体などが実施する主体的、公益的な地域活動を支援しています。

令和2年度は、3団体がさまざまな活動に取り組みました。

猫被害対策で地域課題解決

【希望ヶ丘猫対策会】

希望ヶ丘地区で発生している外飼い猫や野良猫の被害やトラブルを解決するため、昨年度に引き続き様々な猫害対策グッズを使って効果を検証しました。超音波猫除けなどの装置を使用、植物を植えるグラウンドカバー方式、猫トイレの設置、猫の糞を使用して堆肥を作るなどです。

今年度は猫糞を使用した堆肥作りに注力し、市販の化成肥料との比較や家庭の生ごみと合わせた堆肥作りを行いました。それぞれの検証結果や「猫の糞を使った堆肥づくり」マニュアルを作成しましたので詳しくは村ホームページをご覧ください。



持続可能な地域づくり

【めんそーれ真栄田】

真栄田地域での観光客増加に伴うオーバーツーリズム問題などを解消し、地元住民が安心して暮らせる場所の回復を目指しています。今年度は観光客と共同した活動や地産地消のモデルづくりを行いました。海域ではマナティプロジェクトやレンタサイクル事業を通して観光客や県内事業者と一緒にビーチクリーンなどを行い、陸域では無農薬野菜の栽培と新たに養蜂をはじめました。また、地域の子どもたちからエコバッグのデザイン案を募集、すべての絵をミックスしたオリジナルエコバッグを制作し販売しています。



ビオトープづくり

【南恩納地域づくり】

南恩納の屋嘉田潟原に流れ込む志嘉座川周辺は、水辺の生物多様性を維持する大切な水辺空間でしたが、人手が入らなくなったことで荒れていました。今年度も引き続き、ビオトープ（水辺の植物と生き物が暮らす空間）づくりに取り組みました。在来のメダカなどについて学習会を開催し、メダカが住めるように池を作りました。ビオトープ周辺の草刈り、橋づくり、イノシシの侵入を防ぐための猪垣などを整備しました。今後も継続して取り組むことで生物多様性を維持する場所ができ、子どもたちの情操教育に役立てたいです。



令和3年度 地域づくり支援助成事業の募集

助成額 30万円（上限）
※30万円以下でも申請可

対象団体

- ①主たる活動の場が村内にある団体
- ②3人以上が村内に在住する成人で構成される団体

対象事業

- ①地域課題の解決を図る事業
- ②地域コミュニティの活性化に資する事業
- ③地域や村の特色を生かし、その魅力を高める事業
- ④その他村長が適当と認めた事業

募集期間 4月12日（月）～5月21日（金）

要綱・様式等は企画課で配布します。また、村ホームページからダウンロードすることができます。



お問い合わせ：企画課 ☎966-1201